

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		子育て応援助成金支給事業						予算事業名		子育て応援助成金支給事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	結城市子育て応援助成金支給要項							
				03	02	01	2007	経常経費	根拠法令							
総合計画体系		1ともに支えあい，安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)							事業の区分		主要事業					
		1-3安心して子育てできる児童福祉の充実（児童福祉）														
		③子育て家庭への支援							担当課係等		子ども福祉課					
		4子育てに係る経済的負担の軽減									子育て支援係					
事業期間		継続（平成25年度～ 年度）														
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
義務教育中の子どもが3人以上いる家庭の経済的負担を軽減する。								子育て支援施策として実施。 近年他市でも給食費を助成している，あるいは無償化の自治体が増えている。								
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】								
子育て応援助成金を支給する。 （給食費未納がないことを確認し，義務教育中の第3子以降の給食費相当分を支給する。） ただし，給食費に未納がある者，生活保護・準要保護を受けている者は対象外。 小学生4,250円/月 中学生4,650円/月								義務教育課程中の子どもが3人以上いる保護者								
								【事業をとりまく環境の変化】 多子世帯の経済的な負担を軽減する様々な措置が講じられている。								
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】								
子育て応援助成金支給 1 0 月，4 月支給（口座振り込み） 小学生4,250円/月 中学生4,650円/月 申請方法等の見直し				子育て応援助成金支給 1 0 月，4 月支給（口座振り込み） 小学生4,250円/月 中学生4,650円/月				子育て応援助成金支給 1 0 月，4 月支給（口座振り込み） 小学生4,250円/月 中学生4,650円/月								
■事業費																
				H30年度		R01年度										
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0									
	県		支	出	金	0	0									
	地		方		債	0	0									
	そ		の		他	0	0									
	一		般	財	源	7,611	8,399									
歳 入 計（千 円）				7,611		8,399										
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）			金額（千円）		金額（千円）										
	19 負担金補助及び交付金			7,611		8,399										
歳 出 計（千 円）（A）				7,611		8,399										
伸 び 率（％）						10.35										
備 考	総合計画 59ページ 予算書 85ページ															

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	該当者数	人	目標	172.00	173.00	173.00
			実績	158.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	助成金支給率	%	目標	100.00	100.00	0.00
			実績	98.75	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	B どちらとも言えない	子育て世帯の経済的負担の軽減となっているのは確実であるが、現金給付であるため評価は難しい。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政でしか実施できない。
	手段の妥当性	C 見直す必要がある	支給に至るまでの関連部署が多く、効率性が低い。
効率性	コストの効率性・人員効率	C 改善の余地はある	支給に至るまでの関連部署が多く、効率性が低い。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	該当者に所得制限をかけていない一方で、義務教育課程中に3人以上いなければならないため、3人以上養育していても対象とならない世帯もある。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	助成金の支給は確実にできている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	助成金の支給は確実にできている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください 現金支給のため、評価が難しい。また支給に至るまでの関連部署が多く、効率性が低い。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか 事業の目的、趣旨を検証し、効果的、効率的な助成の方法について検討していく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 業務効率が悪い。当該事業が「子育て応援」に繋がっているのか検証する必要がある。教育委員会等の関係部署と事業の見直しを行う必要がある。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。